



【平成 20 年度・夏】

センター通信

社会福祉法人

青少年福祉センター

郵便番号 123-0873

東京都足立区扇 1-12-20

TEL (03) 3856-2728

FAX (03) 5939-7880

URL www.wfc.or.jp

第10回 チャリティー大バザーを終えて

バザー委員長

あけの星学園園長 石丸 正史

この度のチャリティー大バザーにおきましては、皆様より多大なるご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。お蔭様をもちまして、バザーが成功裡に終わりましたことを、ここにご報告申し上げる次第です。

チャリティー大バザーは、今回で 10 回目という一つの節目を迎えました。このバザーは、法人の職員が同じ目的に向かい、心をつににする数少ない機会であり、非常に重要な事業の一つでございます。

バザー委員長という大役を初めて務めさせていただき、不慣れな中で各方面の皆様にご迷惑をお掛けしてしまいました。また、ラッフル担当も初めての経験であり、要領を得ない事も多くありました。

今回の成功は、ひとえに皆様の力の結晶が形になったものと断言できます。この経験を、また 2 年後のチャリティー大バザーで生かし、知識と経験、そして伝統を受け継いで参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

☆チャリティー大バザーに参加して

バザー委員ボランティア 小池 那智子

青少年福祉センターの寄贈品整理のボランティアとして週一回通い始めて約 3 年。普段は、扇の倉庫の中で、他の 10 人余のボランティアの仲間と一緒に物品の整理をしているのですが、今回は、荒船バザー担当理事の下で、仲間の吉村加寿代さんとバザー全体のお手伝いをさせて頂くこととなり、センターの各事業所の職員の方々ともお知り合いになれて、大変充実した半年間を過ごすことが出来ました。

バザー会場では、職員の方々やボランティアの仲間の笑顔が溢れ、リラックスした雰囲気が印象的でした。模擬店の「美味しそうな匂い」と「威勢の良い掛け声」、お祭り広場で子ども達の走り回る歓声。一所懸命掘り出し物を探しておられるお客様に対し、忙しそうにして対応しておられる売り子さん達。このバザーには、老若男女、全ての年齢層の方々にお越し頂き、お楽しみ頂けたのではないのでしょうか？ また、慣例のラッフル抽選会。130 点近い賞品をご提供頂きました。当たった方は勿論のこと、外れた方々も「次回こそは！」とお思いになられた事でしょう。私は、主に出店を担当し、9 団体に参加して頂きました。今回からはラッフル券 10 枚の購入に加え、売り上げの 20%を出店の条件としてお願いしましたが、快くご寄付を頂戴しました。各団体の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

このバザーを通じ、職員の方々が、一生懸命身体を動かしておられるのを度々眼にしました。ゴミを午前中から黙々と分別しておられる方がいたり、搬入・搬出では手のあいている人が集まり、掛け声をかけながら黙々と荷物を運んでおられました。各事業所でも、きっと地道な努力をしておられるに違いなく、今後ますます発展していくことを信じています。

第10回チャリティー大バザーを開催しました！

平成20年6月28日(土)、聖心インターナショナルスクールにおいて恒例のチャリティー大バザーを開催しました。当日は多くの方々が参加して、大変盛況でした。



昼食時は、お客さまでいっぱい！



お祭り広場は、ゲームで賑わっていました。

★バザー会場★



バザーは大繁盛！

★店舗コーナー★



焼き鳥、フライドポテト、イカげそ、フランクフルト、かき氷を販売しました。いらっしやいませ！おいしいよ～！

会場の見取り図



★ラッフル券抽選会場★



ラッフル券の抽選をしました。抽選会場には、多数の方が参加し、いろいろな景品が当たりました。

★ゲームコーナー★



グラウンドでは、子ども向けのゲームを用意し、子どもたちは、パターゴルフや輪投げ、サッカーボウリングを楽しみました。

★『かけがえのないあなたへ』販売コーナー★



長谷場夏雄専務理事が執筆した書籍『かけがえのないあなたへ』を販売し、隣のコーナーでは、本に付録されている DVD を上映しました。

【参加児童の声】

チャリティー大バザーに清周寮と暁星学園の児童、OG が参加しました。この欄では、子どもたちの声を紹介します。

- ☆ 賑やかな感じで、楽しかった。
- ☆ ゲームを通していろんな交流を深めることができて良かった。
- ☆ 朝から参加して大変だったけれど、かき氷が売れてうれしかった。
- ☆ こういう場で自分の言葉で売り手として小さな子やお年寄りに接することができて、とても楽しかった。よい経験でした。
- ☆ 友達や卒業生と久しぶりに会えて楽しかった。
- ☆ 気に入ったバザー商品を買うことができて良かった。

『かけがえのないあなたへ』が出版されました！

後援者の皆様、この本は、職員と子ども達と皆様後援者で作上げた「青少年福祉センター」の歩みと思いの記録です。

センターは、どんな子どもをどういう風に育てているのかの皆様へのご報告をも兼ねさせていただきました。

50年前、小さなアパートの一室でスタートしたセンターが、大きな、そしてたくさんの子どもの「城」に育ったのは、皆様後援者の方々のご犠牲とご愛情の賜物です。

若い職員たちは、年老いた私を叱咤激励し、この本を何とか書き終えさせてくれました。もし皆様にお読みいただければ、これに越した幸せはございません。

著者 長谷場夏雄



※DVD は、
本に付録さ
れています。

『かけがえのないあなたへ』
長谷場夏雄著
社会福祉法人青少年福祉センター編

『かけがえのないあなたへ』編集委員会より

この委員会は、センターの創設者である長谷場先生の実践とその実践の基になっている先生の考えを、今現在、社会福祉法人青少年福祉センターに集う者みんなで共有したいという思いで始まったものです。2006年9月より、月1回のペースで、二つの児童養護施設（含む二つのグループホーム）、三つの自立援助ホーム、一つの精神的な課題の人たちのためのホームで働いている職員の代表の人たちが集まって編集作業を行い、この度の刊行となりました。

編集委員会の一人として参加させて頂きましたが、「社会福祉法人青少年とともに歩む会」の憩いの家会報（「歩む会通信」）に、常務理事の武田陽一氏が「青少年福祉センターの若い職員が、長谷場語録の作成に取り組んでいると目を輝かせながら語っていた」と書いておられたことを思い出し、そしてそのことを実感した2年間でした。今の若い職員の方々の、長谷場先生の考え、実践、すなわち本書の題名に表されている『かけがえのないあなたへ』を必死になって学ぼうとする姿勢に心を打たれると同時に、編集の労をとってくださった大屋菁示様、ビデオの作成にあたってくださいました志村建世様のご協力に心から感謝申し上げます。

また、このような創設者の「思索と実践」を考えてみる機会をお許しくださった児玉惟継理事長をはじめとした理事会及び評議員会の方々、そして、なによりもセンターに集う「かけがえのない多くの若者たち」への限りない感謝の念を表させていただきます。

編集委員会委員 大嶋恭二

各施設の行事紹介

今回は、行事を中心に子どもたちの様子をお伝えします。

自立援助ホーム 新宿寮（新宿区）

こんにちは。新宿寮から春の行事の様子をお伝えします。行事はいつもお仕事お疲れさま！の慰労の気持ちも含めて企画しているもので、仕事の顔とは違う十代まった中の男の子たちの素顔を紹介したいと思います。

今年のゴールデンウィークの目玉は釣り。手作りのお弁当を持って栃木県まで行きました。経験者が多く、



釣りのマナーもしっかり。あたりを待ったり、あとちょっとで逃げられたり。待つ時間があるからこそ釣り上げたときの嬉しさがやみつきになる…「また行きたい！」の声が聞かれた、なごやかな一日でした。

スポーツ行事が盛り上がるのも男の子ならでは。ラウンドワンでのスポーツし放題や近所の体育館開放での自由遊び。新宿寮は東京のど真ん中であって、体を思いきり動かせる

機会は数少ないのですが、この時ばかりは汗と笑顔がとびきり輝いて見える瞬間です。

夏には一泊旅行を企画しています。仕事と東京から離れ、とびきりの思い出ができますように。



自立援助ホーム 清周寮（足立区）



6月7日、富士急ハイランドに行ってきました。この日は朝から天気も良く、絶好の遊園地日和でした。仕事で疲れている寮生たちですが、朝から元気一杯です。

着くなり富士急の目玉 FUJIYAMA へ。スリル満点のアトラクションでしたが、寮生たちには怖さよりも楽しさのほうが勝ったようです。

その後も長蛇の列に並び様々なアトラクションを楽しむことができました。

最後にみんなで挑戦したお化け屋敷、『戦慄迷宮』。とっても怖かったようですがどうにかゴールに辿り着き一安心でした。

帰りの車ではさすがの寮生たちも疲れたようでしたが、笑顔で「楽しかったね！」という言葉が聞くと私たちの疲れも吹っ飛びます。

寮生たちの長年の希望を叶えることができ良かったと思います。

皆様からの温かいご支援のおかげでとても楽しい一日を過ごすことができました。



寮生たちはまた次の日から仕事です。でも十分にパワーを充電して忙しく出勤する寮生たちを見送りながら私たち職員も自然と笑顔になれました。

児童養護施設 暁星学園（足立区）



暁星学園では、2階、3階、4階、ほきまホーム、うめだホーム、と別々にゴールデンウィークの行事をおこないました。数年前までは、学園全体で実施していましたが、各フロア、ホーム別に実施した方が、子どものニーズに合ったものを計画できるので、子どもたちにも好評です。

今回は、暁星学園の2階ユニット「マナ」のゴールデンウィーク行事を紹介します。

マナでは、子どもたちから意見を出してもらいながら行事の内容を一緒に考え、富士急ハイランドに決めました。

行きは渋滞のため疲れもありましたが、途中に立ち寄った「石ころ館」では、自分で選んだ石やパーツを使って、アクセサリなどを作り、嬉しそうに見せてくれる場面もありました。2日目は朝早く出発し、丸1日遊べるように予定していましたが、富士急ハイランドはたくさんの人で賑わっており、中には3時間半待ちというのもありました…。しかし、夜までにはいくつかのアトラクションを楽しむことができ、子どもたちも職員も満足した行事となりました。



児童養護施設 あけの星学園（新宿区）



レストランの前でハイ、チーズ！

5月5日（月）、三井ガーデンホテル汐留「ラ・マレーア」に行き、ヴェュッフエ式のディナーを食べました。みんな、バッチリお洒落して行きました。洒落た雰囲気のレストランで、少し緊張しながらもおなかいっぱい食べて大満足！その後、お台場に移動して、観覧車に乗りました。お台場の夜景とても綺麗に見えました！風が強くて時折、ゴンドラが大きく揺れて怖かったけれど、それもいい思い出になりました。

自立援助ホーム おうぎ寮（足立区）

満員御礼！

Aさん：看護学校と病院の勤務「それに・・・病院実習にも行っています」

Bさん：近くのスーパーで8時間「私の作るお惣菜・・・美味しいよ」

Cさん：不動産情報会社「お家の事なら任せてね」

Dさん：ファミリーレストラン「ランチの厨房は私の腕しだい・・・」

Eさん：アパレル「可愛い服・小物を取り揃えてあります」

Fさん：ドラッグストア「何でもあります。ご利用下さい」

み～んな一生懸命働いています。1日24時間では足りませ～ん。

おうぎ寮の夕食は門限の22時からがほとんど。。。

行事？ 残念ながら出来ずにいます。（3名が正社員1年生で日程調整困難）



今度・・・映画でも行こうか？
いいねえ～



精神障がい者グループホーム ノエル（足立区）



旅行や誕生会についてこの通信に書こうとしたら利用者の方から、それらは私たちだけのささやかな思い出としてとっておきたいと意見がありました。

そこで全員の協力で完成した『足立こころの健康フェスティバル』の出品作を紹介します。

節約のため、材料は 100 円ショップで調達しました。

ペーパークラフトの花を作るとき不安が強い方は震えながら練習したあと作品に取りかかっていました。

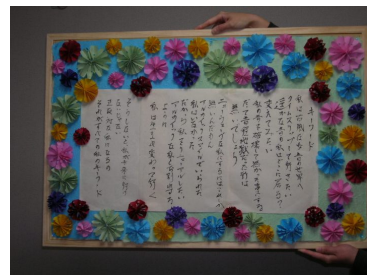
ある日、創作に時間を割きたいとの提案で食料を買いだめすることになり皆でディスカウントストアに行ったところ海苔の種類で利用者の意見が分かれて言い争いになりました。

その後一人は部屋に引きこもり、一人は憤然としていました。

ところが数日後、二人は互いにお菓子を買ってきたりコーヒーを入れてあげたりしていました。

彼女たちは傷ついてきたからこそ許し合う大切さが分かっています。

二人は作品にも、心の有り様についてもベストを尽くしたのです。



第 10 回バザー収支報告書

収入		支出	
寄付金	1,645,240	通信費	120,550
ラッフル券	3,750,000	交通費	96,695
受付当日ラッフル券	263,180	印刷費	55,405
ゲーム	90,477	消耗品費	26,539
かき氷	22,700	材料費	140,431
フランクフルト	20,350	光熱費	34,130
焼き鳥	69,215	警備費	0
飲み物（内）	20,220	ボランティア弁当	70,000
飲み物・食品（外）	88,550	雑費	2,835
喫茶	102,090	郵便振替受手数料	19,280
三ノ助豆腐	33,500		
赤坂飯店	37,620		
S B カレー	79,800		
ホワイトエレファント	841,115		
センターの店	992,266		
お楽しみ袋（内《つめ放題含む》）	70,100		
お楽しみ袋（外）	15,750		
出店	106,745		
収入合計	8,248,918	支出合計	565,865

※この集計は、7月14日現在のものです。

純益 ￥7,683,053

貸 借 対 照 表

	科目／部門名	合計	本 部	暁星学園	あけの星学園
資産の部	流動資産	168,342,804	86,044,702	66,593,359	12,865,805
	固定資産	812,130,935	274,490	589,915,288	47,403,191
	基本財産	671,448,492	0	507,933,754	0
	その他の固定資産	140,682,443	274,490	81,981,534	47,403,191
	合 計	980,473,739	86,319,192	656,508,647	60,268,996
負債の部	流動負債	14,332,869	1,769,140	6,373,071	2,168,147
	固定負債	123,510,000	0	93,510,000	0
	負債の部合計	137,842,869	1,769,140	99,883,071	2,168,147
純資産の部	基 本 金	425,345,569	0	262,825,455	0
	国庫補助金等特別積立金	184,902,311	0	164,230,751	0
	その他の積立金	114,328,403	0	72,660,000	41,668,403
	次期繰越活動収支差額	118,054,587	84,550,052	56,909,370	16,432,446
	(うち当期活動収支差額)	30,015,756	5,818,352	25,486,842	1,192,834
	純資産の部合計	842,630,870	84,550,052	556,625,576	58,100,849
	合 計	980,473,739	86,319,192	656,508,647	60,268,996
	科目／部門名	清周寮	おうぎ寮	新宿寮	ノエル
資産の部	流動資産	663,859	308,202	753,911	1,112,966
	固定資産	105,272,974	40,468,037	28,796,955	0
	基本財産	104,865,447	40,468,037	18,181,254	0
	その他の固定資産	407,527	0	10,615,701	0
	合 計	105,936,833	40,776,239	29,550,866	1,112,966
負債の部	流動負債	1,936,428	677,213	1,031,863	377,007
	固定負債	0	0	30,000,000	0
	負債の部合計	1,936,428	677,213	31,031,863	377,007
純資産の部	基 本 金	132,272,377	10,266,207	19,981,530	0
	国庫補助金等特別積立金	0	20,671,560	0	0
	その他の積立金	0	0	0	0
	次期繰越活動収支差額	-28,271,972	9,161,259	-21,462,527	735,959
	(うち当期活動収支差額)	-2,253,042	-554,926	22,190	303,506
	純資産の部合計	104,000,405	40,099,026	-1,480,997	735,959
	合 計	105,936,833	40,776,239	29,550,866	1,112,966

【編集後記】

紙面の作成にあたり、ご協力いただいた方々、お忙しい中、誠にありがとうございました。

今号は、大きく二つの内容で構成しています。チャリティー大バザーと各施設の様子を紹介しています。その様子が分かりやすく伝えられるよう、写真を多く取り入れました。

次号は、12月に発行する予定です。楽しみにして下さい。

※遠藤理事の連載は、次号（12月）に掲載する予定にしています。

郵便振替

00170 - 4 - 96636

社会福祉法人

青少年福祉センター

TEL 03 - 3856 - 2728

FAX 03 - 5939 - 7880

〒123 - 0873

東京都足立区扇 1 - 12 - 20